ボーリング柱状図

調　査　名　主要地方道千代田八千代線道路改良事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	1	3	2	7	4	1	5	0	0	3

シートNo.

ボーリング名	Boring No.3	調査位置	主要地方道千代田八千代線道路改良事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託		北緯	34° 35’ 41.9932″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			調査期間	平成29年 9月19日～平成29年 9月21日	東経	132° 33’ 55.7771″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH 330.51m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	18° 鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機	東邦製D-0型	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	11.00m								エンジン	ヤンマーNFD-12型	ポンプ	東邦地下工機BG-3B型

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
1				礫混じりシルト質砂	茶褐灰						不均質な砂質粘土を主体とし、φ5～20mm程度の亜角礫を含む。表層部腐食物含む。				1.15	7/30											
2	328.11	2.40													1.45												
															2.15	20/30											
3															2.45												
															3.15	28/30											
4															3.45												
														9/19 4.10	4.15	19/30											
5															4.45												
															5.15	18/30											
6															5.45												
															6.15	28/30											
7				流紋岩	淡灰	E	VI	d	ε	4	流紋岩の強風化部。風化・変質の進行が著しく軟質化している。コアは砂質土～礫質土主体の不均質な性状を呈す。掘削中、逸水等の以上は全区間において認められなかった。		DL		6.45												
														9/20 7.50	7.15	48/30											
8													DM		7.45												
															8.15	38/30				9/19	200	90／ケーシング	打込み／打込みシュー	0	0	0	無水／0	0
9						D	V				GL-7.0m付近より礫状コアが主体となり深度と共に硬質化する傾向が認められる。				8.45												
															9.15	50/25							D/WC	5	150	0	清水／20	20
10					淡灰			c	δ		GL-9.0m付近より風化・変質の進行が緩やかとなり岩片自体はやや硬質化する。岩級はDH級相当となる。				9.40												
														9/21 10.40	10.15	50/16				9/20	100	90	D／MC	11	200	0	清水／15	15
11	319.51	11.00													10.31									15	200	0	清水／20	20
															11.10	50/4											
12															11.14												